滝沢進学塾　「志」通信
2020年7月号　No.13
発行者：滝沢進学塾　発行責任者：歳弘　明
滝沢市鵜飼笹森1-87　TEL 019-677-8423

来年3月の高校入試はどうなるのか！？

【今年3月の高校入試の概要】

今年の高校入試はまさに異常事態だったと言えます。
【グラフ1】より最近の平均点の推移を見ると、今年の平均点がかなり高いことが分かります。平均点が高くなると、当然合格ラインも上昇します。

特に盛岡北高は定員が40名減少したことで志願者倍率も高くなったこともあり、前回より合格ラインが約100点も急上昇したようです。他の高校でも北高ほどではないですが、合格ラインが20～50点ほど上昇したと思われます。

【高校入試の平均点の概要】

【グラフ2】から今年の入試では、国語が昨年より大幅に上がり、数学と理科は昨年下がった反動から8～9点上がりました。
全体的に問題が簡単になったことが原因と考えられます。

来年の入試の展望ですが、新型コロナの影響もあって出題傾向はあまり変わらないと思いますが、1・2年の内容の比重が高まることが予想されるので要注意です。

【各教科の平均点】

○国語
漢字だけの大問がなくなったり、小説と古文の融合問題があったりと出題形式が大きく変わりましたが、作文は昨年とほぼ同じ形式の問題であったり、記述問題が減ったことが影響して、平均点は大幅に上がりました。来年は難化して60点前後になるかも。

○数学
難しい問題がほとんどなくなり、答えやすい問題が増えたため、平均点が上がりました。出題形式は毎年変わってきているので、新傾向の問題が出題される可能性が大きいです。

○英語
平均点が唯一下がった教科です。できる生徒とできない生徒の差が大きくなっていることが原因で平均点が変わらないだけで、上位生は90点以上を取れる教科です。

○理科
多くの生徒が苦手としている教科です。しかし、簡単な問題も多いため、上位生はある程度の高得点は取れる教科です。

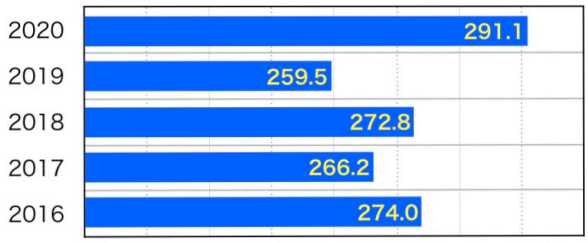
○社会
記述問題は増えていますが、知識があれば正解できる問題が多いので、上位生は得点源にしたい教科です。

＊盛岡地区の進学校のボーダーライン(独自予想)や入試問題分析や出題傾向などの情報はブログ「滝沢進学塾の塾長ブログ」で順次公開していく予定です。

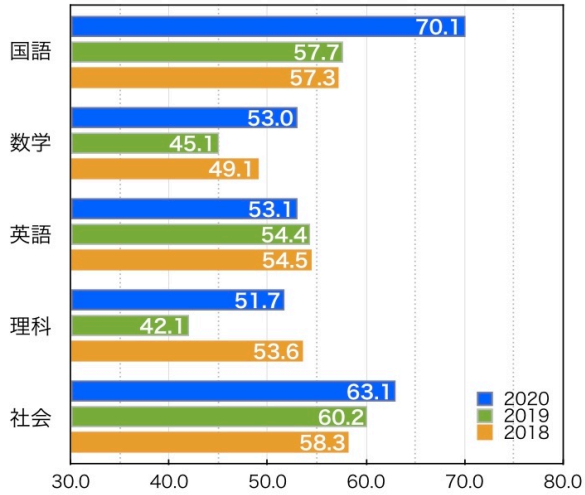
盛岡一高・盛岡三高・盛岡四高・盛岡北高への進学を考えている生徒を対象に「個別進学相談(無料)」を実施します。
＊ご興味のある方は滝沢進学塾までお問い合わせください。

＜岩手県公立高校入試データ＞
(数値は岩手県教育委員会が公表したものを使用しています)

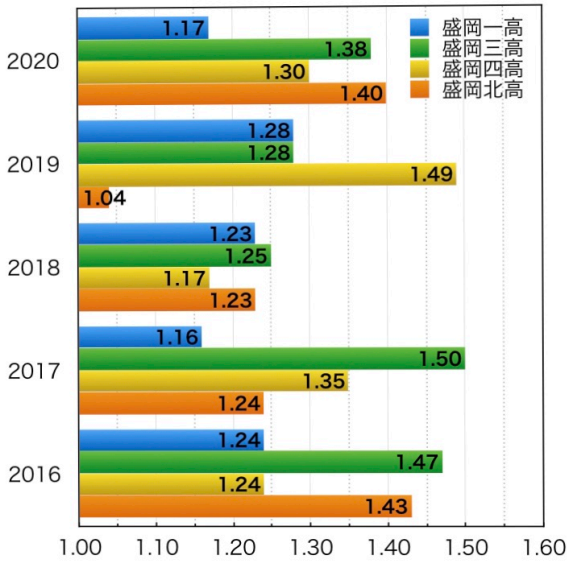
【グラフ1】合計点の推移(2016-2020)



【グラフ2】平均点の推移(2018-2020)



【グラフ3】志願者倍率の推移(2016-2020)



2020.8.31までの募集定員：中3(3名)・高3(2名)・小6(2名)・中2 (1名)・中1(1名)・小5(1名)・小4(1名)・高2(1名)